

小豆島町学校ICTレポート

インターネット検索その③～検索エンジンの問題点

検索結果の一番上に表示されたからといって、内容の正確性や信ぴょう性が保証されているわけではありません。

○検索を評価する

そもそもインターネット上の情報には以下の問題があります。

- Webサイトは誰でも(匿名でも)発信できる
- 書籍や新聞、テレビのように校閲のような情報のチェック体制がほとんど整っていない
- 特定の利益への誘導や偏見に基づいて情報発信されている場合がある
- 一次情報がない、または不明確なことがある

そもそも、検索エンジンの索引に登録されていないページは表示されません。上位に表示されるWebページのほとんどは、自分のWebサイトを上位に表示されるような対策（SEO対策）を行っています。これは以前「検索エンジンの仕組み」で説明した特性をもとに、上位に表示されやすいようにさまざまな工夫をすることです。信頼の置ける機関のWebサイトより、SEO対策した専門家ではない個人のページが上位に表示されることがあります。

「インターネット検索の結果は情報探索のスタート地点」です。検索結果を鵜呑みにせず検索結果を評価しましょう。イギリスの教育学者であるキャシー・シュロック(Kathy Schrock)は「Webサイトを評価するための5つのW」を使うことを推奨しています(右表)。参考にしてください。

表. Webサイト評価のための5つのW

Who (だれが)	誰がWebページを作成したのか、作者は専門家なのか？ 作者の履歴や業績は示されているか？ 作者についてさらに知るにはどうしたらよいか？
What (何を)	このWebサイトの目的を作者は何としているか？ このWebサイトの本当の目的は何か？ このWebサイトの使いやすさは何か？ どのような情報が含まれていて、他のWebサイトとの違いは何か？
When (いつ)	Webサイトが作成されたのはいつか？ Webサイトの最終更新日はいつか？
Where (どこで)	Webページに書かれている情報はどこから来ているのか(1次情報源はあるか)？ Webサイトの情報元についてどこで知ることができるのか？
Why (なぜ)	なぜこの情報が自分の目的に役立つのか？ なぜこの情報を使うべきなのか？ なぜこのページは他のWebサイトより優れていると言えるのか？

小豆島町の目標

全児童生徒が1日1時間はiPadを使った授業を受ける